

パラメータ・ファイル PRM78F0547 (V1.05) 補足資料

ご使用の前に必ずお読みください

1. パラメータ・ファイルのパッケージ内容.....	2
2. フラッシュ・プログラムの対応バージョンと注意事項.....	4
2-1. PG-FP4 の対応バージョンと注意事項	5
2-2. PG-FPL3 の対応バージョンと注意事項	6
2-3. MINICUBE2 の対応バージョンと注意事項	7
3. フラッシュ・アダプタ (FA シリーズ) を使用した配線例	8
3.1 78K0/KB2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503MC-5A4-MX)	8
3.2 78K0/KB2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503FC-AA3-MX)	10
3.3 78K0/KC2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0513GB-UES-MX)	12
3.4 78K0/KC2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0515GA-8EU-MX)	14
3.5 78K0/KD2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0527GB-UET-MX)	16
3.6 78K0/KE2 フラッシュ・アダプタ	18
(FA-78F0537GK-UET-MX/FA-78F0537GC-UES-MX/FA-78F0537GB-UEU-MX/FA-78F0537GA-8EV-MX) ..	18
3.7 78K0/KE2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537FC-AA1-MX)	20
3.8 78K0/KF2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0547GK-8EU-MX/FA-78F0547GC-UBT-MX)	22
4. 前パッケージ・バージョンからの変更点.....	24

1. パラメータ・ファイルのパッケージ内容

本製品（PRM78F0547）に含まれているパラメータ・ファイルの種類、及び対応デバイスは次の通りです。

表 1-1 パッケージ内容と対応デバイス一覧

1/2

パッケージ・バージョン	サブシリーズ	パラメータ・ファイル		対応デバイス	
		名称	バージョン		
V1.05	78K0/KB2	78F0500.prm	V1.04	UPD78F0500	*
		78F0501.prm	V1.04	UPD78F0501	*
		78F0502.prm	V1.04	UPD78F0502	*
		78F0503.prm	V1.04	UPD78F0503	*
		78F0503D.prm	V1.04	UPD78F0503D	*
	78K0/KC2	78F0511.prm	V1.04	UPD78F0511	*
		78F0512.prm	V1.04	UPD78F0512	*
		78F0513.prm	V1.04	UPD78F0513	*
		78F0513D.prm	V1.04	UPD78F0513D	*
		78F0514.prm	V1.04	UPD78F0514	*
		78F0515.prm	V1.04	UPD78F0515	*
		78F0515D.prm	V1.04	UPD78F0515D	*
	78K0/KD2	78F0521.prm	V1.04	UPD78F0521	*
		78F0522.prm	V1.04	UPD78F0522	*
		78F0523.prm	V1.04	UPD78F0523	*
		78F0524.prm	V1.04	UPD78F0524	*
		78F0525.prm	V1.04	UPD78F0525	*
		78F0526.prm	V1.04	UPD78F0526	*
		78F0527.prm	V1.04	UPD78F0527	*
		78F0527D.prm	V1.04	UPD78F0527D	*

補足：“*”は前パッケージ・バージョンから変更、追加したパラメータ・ファイルです。

詳細は、4章 前パッケージ・バージョンからの変更点を参照してください。

表 1-1 パッケージ内容と対応デバイス一覧

2/2

パッケージ・バージョン	サブシリーズ	パラメータ・ファイル		対応デバイス
		名称	バージョン	
V1.05	78K0/KE2	78F0531.prm	V1.04	UPD78F0531 *
		78F0532.prm	V1.04	UPD78F0532 *
		78F0533.prm	V1.04	UPD78F0533 *
		78F0534.prm	V1.04	UPD78F0534 *
		78F0535.prm	V1.04	UPD78F0535 *
		78F0536.prm	V1.04	UPD78F0536 *
		78F0537.prm	V1.04	UPD78F0537 *
		78F0537D.prm	V1.04	UPD78F0537D *
	78K0/KF2	78F0544.prm	V1.04	UPD78F0544 *
		78F0545.prm	V1.04	UPD78F0545 *
		78F0546.prm	V1.04	UPD78F0546 *
		78F0547.prm	V1.04	UPD78F0547 *
		78F0547D.prm	V1.04	UPD78F0547D *

補足：“*”は前パッケージ・バージョンから変更、追加したパラメータ・ファイルです。

詳細は、4章 前パッケージ・バージョンからの変更点を参照してください。

2. フラッシュ・プログラムの対応バージョンと注意事項

本パラメータ・ファイルに対応するフラッシュ・プログラムは以下の通りとなります。

ご使用の際は、次頁の各フラッシュ・プログラムの章を参照してください。

- ・ PG-FP4
- ・ PG-FPL3
- ・ MINICUBE2

各フラッシュ・プログラムの基本的な使用方法についてはユーザーズ・マニュアルを参照してください。

なお、各フラッシュ・プログラムのプログラミング GUI 及びファームウェアは下記アドレスの NEC エレクトロニクスのホームページで最新版を公開しておりますので、最新版をダウンロードしてご使用ください。

<http://www.necel.com/micro/ods/jpn/index.html> (日本語サイト)

<http://www.necel.com/micro/ods/eng/index.html> (英語サイト)

2-1. PG-FP4 の対応バージョンと注意事項

①対応バージョン

本パラメータ・ファイルと PG-FP4 の対応バージョンは次のとおりです。この組み合わせでご使用ください。

表 2-1 PG-FP4 の対応バージョン

PG-FP4	対応バージョン
管理記号	G 以上
PG-FP4 用プログラミング GUI	V2.15 以上
PG-FP4 用ファームウェア	V1.33 以上

<バージョンの確認方法>

- ・管理記号 : 10 桁の製造番号（シリアル No.）の左から 2 桁目に表示されています。
バージョン・アップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、
その中に記載されている V-UP LEVEL X の X が管理記号になります。
- ・プログラミング GUI : [Help] メニューの [About] により表示
- ・ファームウェア : [Programmer] メニューの [Reset] により表示

②注意事項

- A. PG-FP4 用プログラミング GUI を使用する場合、通信方式は以下のとおり設定してください。

表 2-2 PG-FP4 用プログラミング GUI の通信方式設定

デバイス通信方式	PG-FP4 通信方式
CSI10（内蔵発振子）	CSI-Internal-OSC
UART6（外部発振子）	UART-Ext-OSC
UART6（プログラマ・クロック）	UART-Ext-FP4CLK

- B. Multiply rate を変更する必要はありません。

2-2. PG-FPL3 の対応バージョンと注意事項

①対応バージョン

本パラメータ・ファイルと PG-FPL3 の対応バージョンは、次のとおりです。この組み合わせでご使用ください。

表 2-3 PG-FPL3 の対応バージョン

PG-FPL3	対応バージョン
管理記号	A 以上
PG-FPL3 用プログラミング GUI	V1.01 以上

＜バージョンの確認方法＞

- ・管理記号 : 本体の基板上にある No. X の X になります。
- ・プログラミング GUI : [Help] メニューの [About FPL3...] により表示

②注意事項

A. PG-FPL3 用プログラミング GUI を使用する場合、通信方式は以下のとおり設定してください。

表 2-4 PG-FPL3 用プログラミング GUI の通信方式設定

デバイス通信方式	PG-FPL3 通信方式
UART6 (外部発振子)	UART *1
UART6 (プログラマ・クロック)	UART *2

※1 外部発振子を使用する際は、PG-FPL3 の CLK を接続しないでください。

※2 プログラマ・クロックを使用する際は、PG-FPL3 の CLK を X1 に、バッファを介した反転信号を X2 に入力してください。

B. Multiply rate を変更する必要はありません。

2-3. MINICUBE2 の対応バージョンと注意事項

①対応バージョン

本パラメータ・ファイルと MINICUBE2 の対応バージョンは、次のとおりです。この組み合わせでご使用ください。

表 2-5 MINICUBE2 の対応バージョン

MINICUBE2	対応バージョン
管理記号	A 以上
MINICUBE2 用プログラミング GUI QB-Programmer	V1.00 以上
MINICUBE2 用ファームウェア	V1.00 以上

<バージョンの確認方法>

- ・管理記号 : 本体の基板上にある No. X の X になります。
- ・プログラミング GUI : メイン・ウインドウ右の[Programmer]に表示 (QB-Programmer)
- ・ファームウェア : メイン・ウインドウ右の[Programmer]に表示 (Firmware)

②注意事項

A. MINICUBE2 用プログラミング GUI QB-Programmer を使用する場合、通信方式は以下のとおり設定してください。

表 2-6 MINICUBE2 用プログラミング GUI の通信方式設定

デバイス通信方式	MINICUBE2 通信方式
UART6 (外部発振子)	UART-Ext-OSC
UART6 (プログラマ・クロック)	UART-Ext-QB2CLK

B. Multiply rate を変更する必要はありません。

3. フラッシュ・アダプタ (FA シリーズ) を使用した配線例

フラッシュ・アダプタを使用して通信する場合の配線例を以下に示します。

備考 FA シリーズは、(株) 内藤電誠町田製作所の製品です。

3.1 78K0/KB2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503MC-5A4-MX)

FA-78F0503MC-5A4-MX は表 3-1 の配線がされています。

表 3-1 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503MC-5A4-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	24	P13/TXD6	23
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	25	P14/RXD6	22
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	26	必要なし	—
CLK	出力	CPU クロック	必要なし	—	P121/X1	9
			必要なし	—	P122/X2/EXCLK	8
/RESET	出力	リセット信号	RESET	6	RESET	6
FLMD0	出力	書き込み電圧	FLMD0	7	FLMD0	7
VDD	—	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	12	V _{DD}	12
			AV _{REF}	27	AV _{REF}	27
GND	—	グラウンド	V _{SS}	11	V _{SS}	11
			AV _{SS}	28	AV _{SS}	28

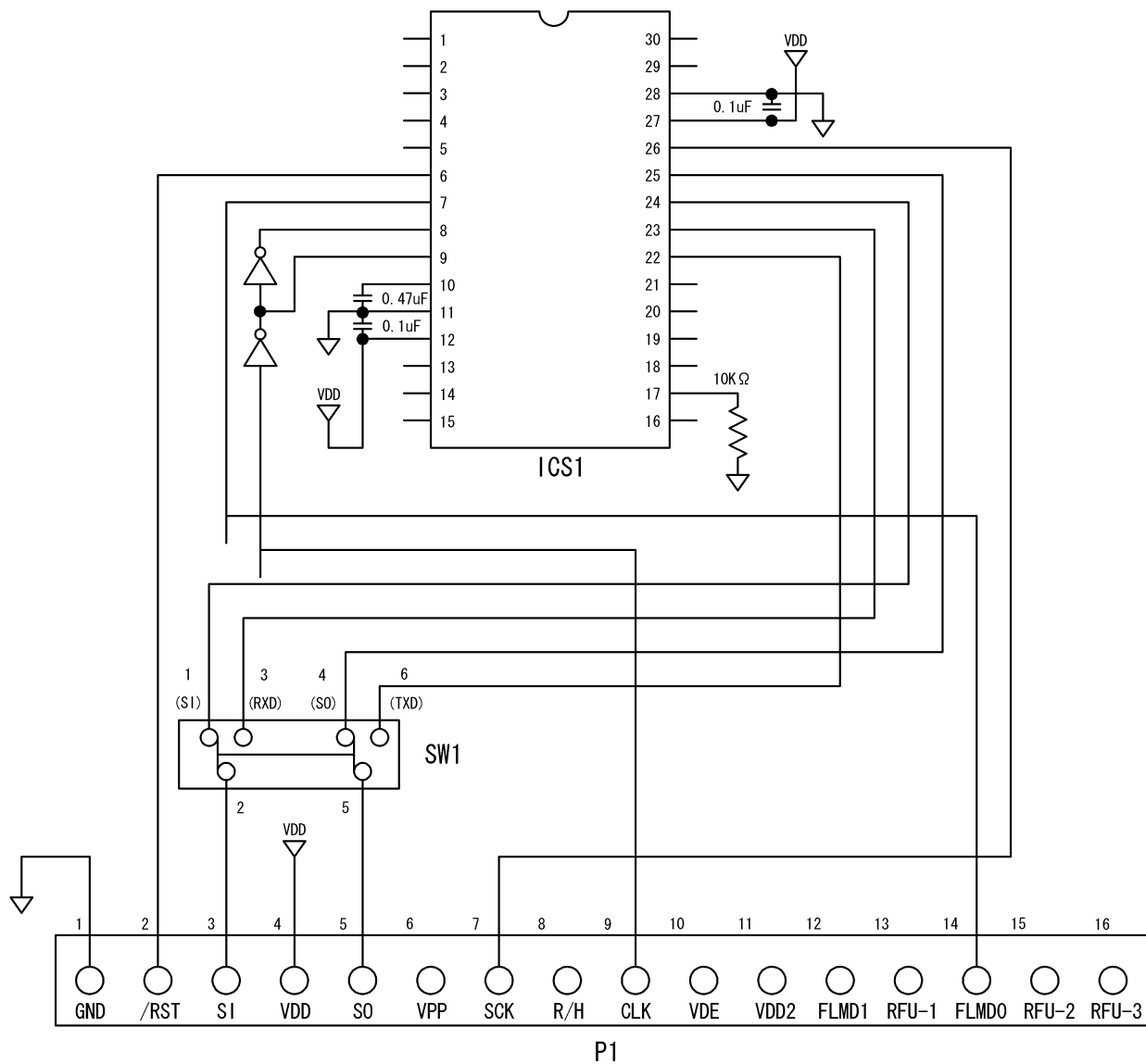
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503MC-5A4-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-1 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503MC-5A4-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.2 78K0/KB2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503FC-AA3-MX)

FA-78F0503FC-AA3-MX は表 3-3 の配線がされています。

表 3-3 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503FC-AA3-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	D2	P13/TXD6	C3
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	D1	P14/RXD6	C2
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	D3	必要なし	—
CLK	出力	CPU クロック	必要なし	—	P121/X1	—
			必要なし	—	P122/X2/EXCLK	D6
/RESET	出力	リセット信号	RESET	E6	RESET	E6
FLMD0	出力	書き込み電圧	FLMD0	E5	FLMD0	E5
VDD	—	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	C5	V _{DD}	C5
			EV _{DD}	B5	EV _{DD}	B5
			AV _{REF}	E1	AV _{REF}	E1
GND	—	グラウンド	V _{SS}	D5	V _{SS}	D5
			EV _{SS}	B6	EV _{SS}	B6
			AV _{SS}	E2	AV _{SS}	E2

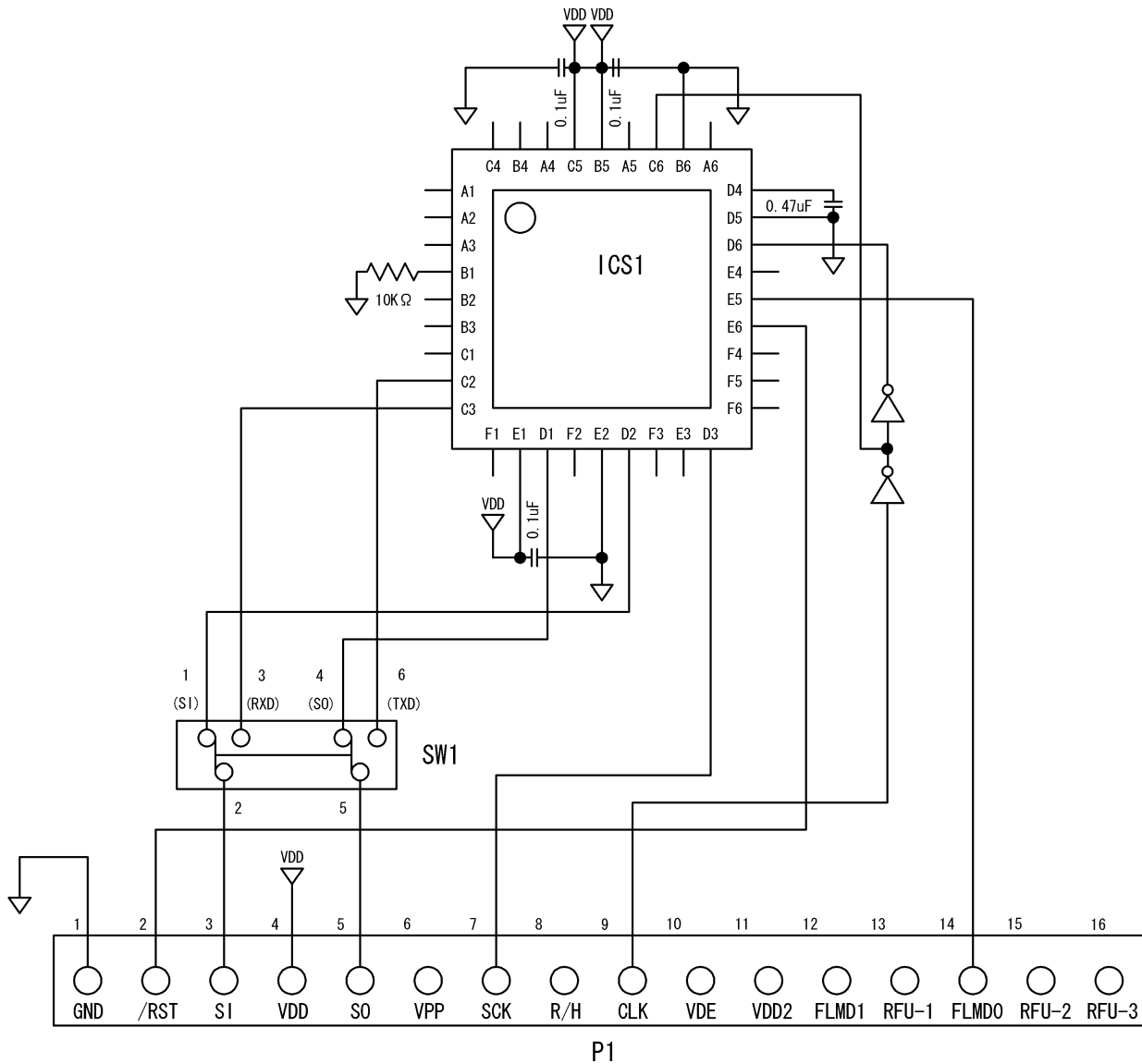
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-4 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503FC-AA3-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0503FC-AA3-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.3 78K0/KC2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0513GB-UES-MX)

FA-78F0513GB-UES-MX は表 3-5 の配線がされています。

表 3-5 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0513GB-UES-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	29	P13/TXD6	28
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	30	P14/RXD6	27
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	31	必要なし	–
CLK 注1	出力	CPU クロック	必要なし	–	P121/X1	8
			必要なし	–	P122/X2/EXCLK	7
/RESET	出力	リセット信号	RESET	3	RESET	3
FLMD0	出力	書き込み電圧	FLMD0	6	FLMD0	6
VDD	–	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	11	V _{DD}	11
			AV _{REF}	32	AV _{REF}	32
GND	–	グラウンド	V _{SS}	10	V _{SS}	10
			AV _{SS}	33	AV _{SS}	33

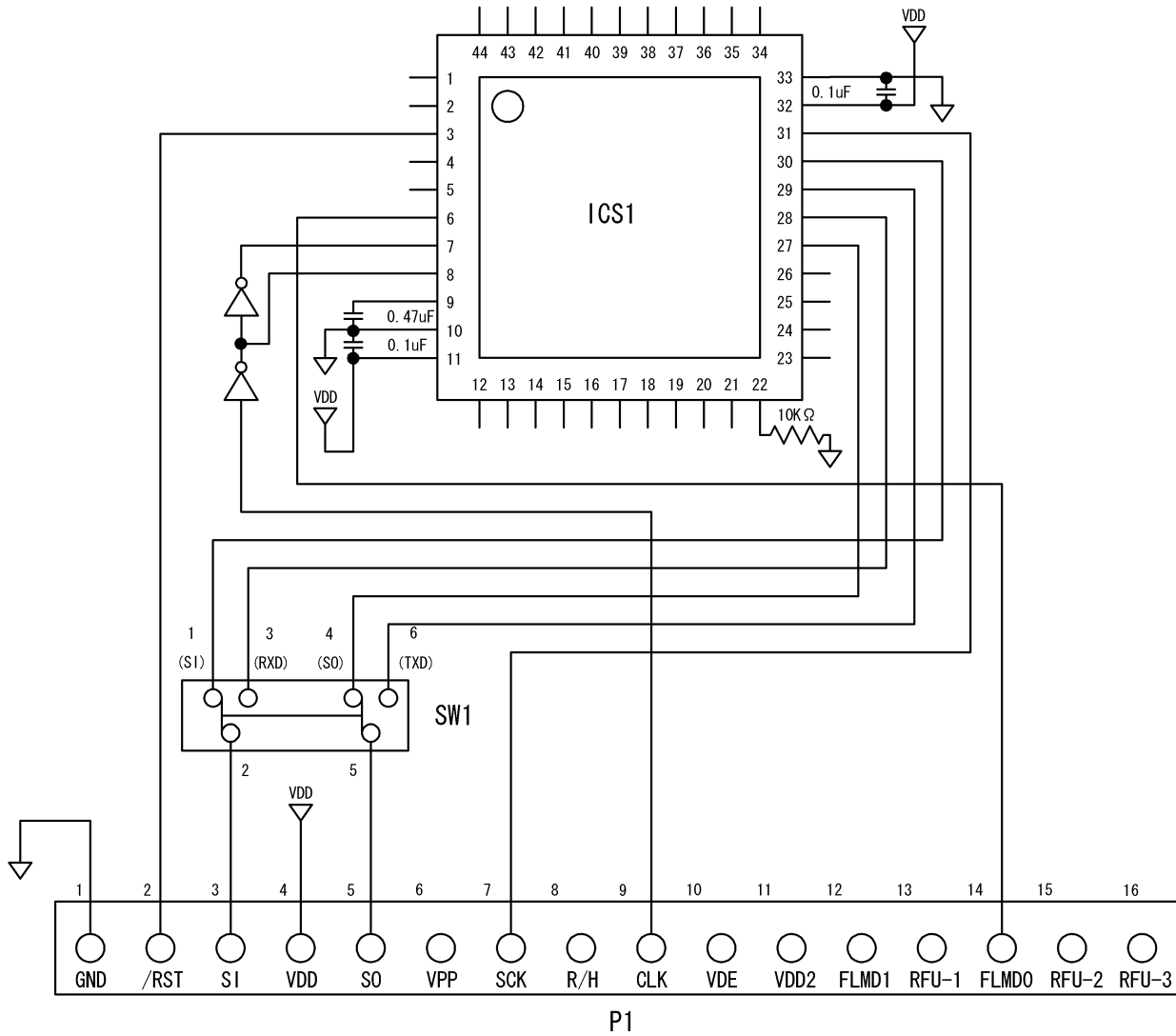
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-6 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0513GB-UES-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-3 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0513GB-UES-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.4 78K0/KC2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0515GA-8EU-MX)

FA-78F0515GA-8EU-MX は表 3-7 の配線がされています。

表 3-7 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0515GA-8EU-MX) の配線表 (1/2)

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	20	P13/TXD6	19
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	21	P14/RXD6	18
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	22	必要なし	–
CLK	出力	CPU クロック	必要なし	–	P121/X1	45
			必要なし	–	P122/X2/EXCLK	44
/RESET	出力	リセット信号	RESET	40	RESET	40
FLMDO	出力	書き込み電圧	FLMDO	43	FLMDO	43
VDD	–	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	48	V _{DD}	48
			AV _{REF}	23	AV _{REF}	23
GND	–	グランド	V _{SS}	47	V _{SS}	47
			AV _{SS}	24	AV _{SS}	24

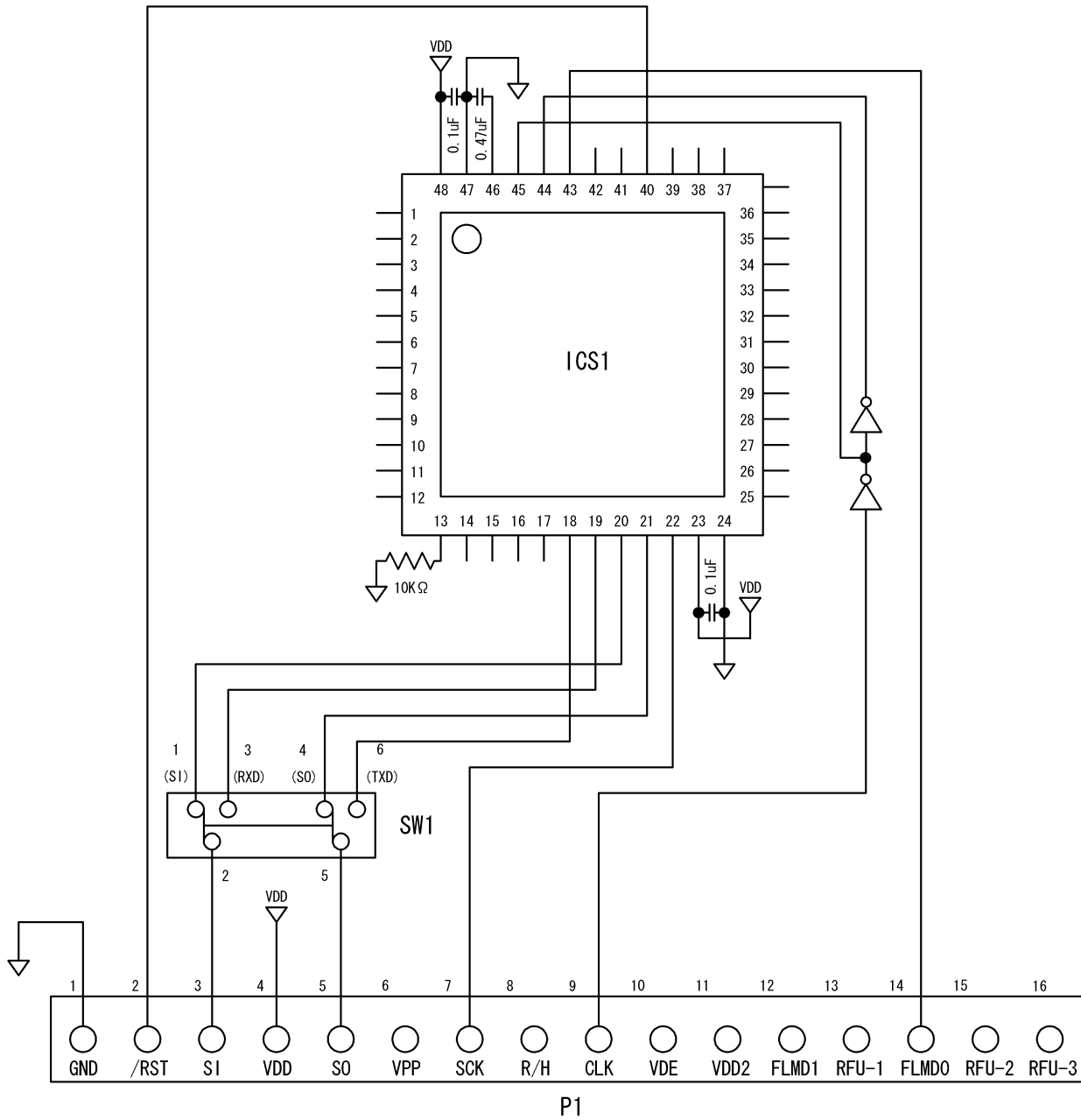
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-8 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0515GA-8EU-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-4 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0515GA-8EU-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.5 78K0/KD2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0527GB-UET-MX)

FA-78F0527GB-UET-MX は表 3-9 の配線がされています。

表 3-9 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0527GB-UET-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	35	P13/TXD6	34
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	36	P14/RXD6	33
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	37	必要なし	–
CLK 注1	出力	CPU クロック	必要なし	–	P121/X1	10
			必要なし	–	P122/X2/EXCLK	9
/RESET	出力	リセット信号	RESET	5	RESET	5
FLMD0	出力	書き込み電圧	FLMD0	8	FLMD0	8
VDD	–	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	13	V _{DD}	13
			AV _{REF}	38	AV _{REF}	38
GND	–	グラウンド	V _{SS}	12	V _{SS}	12
			AV _{SS}	39	AV _{SS}	39

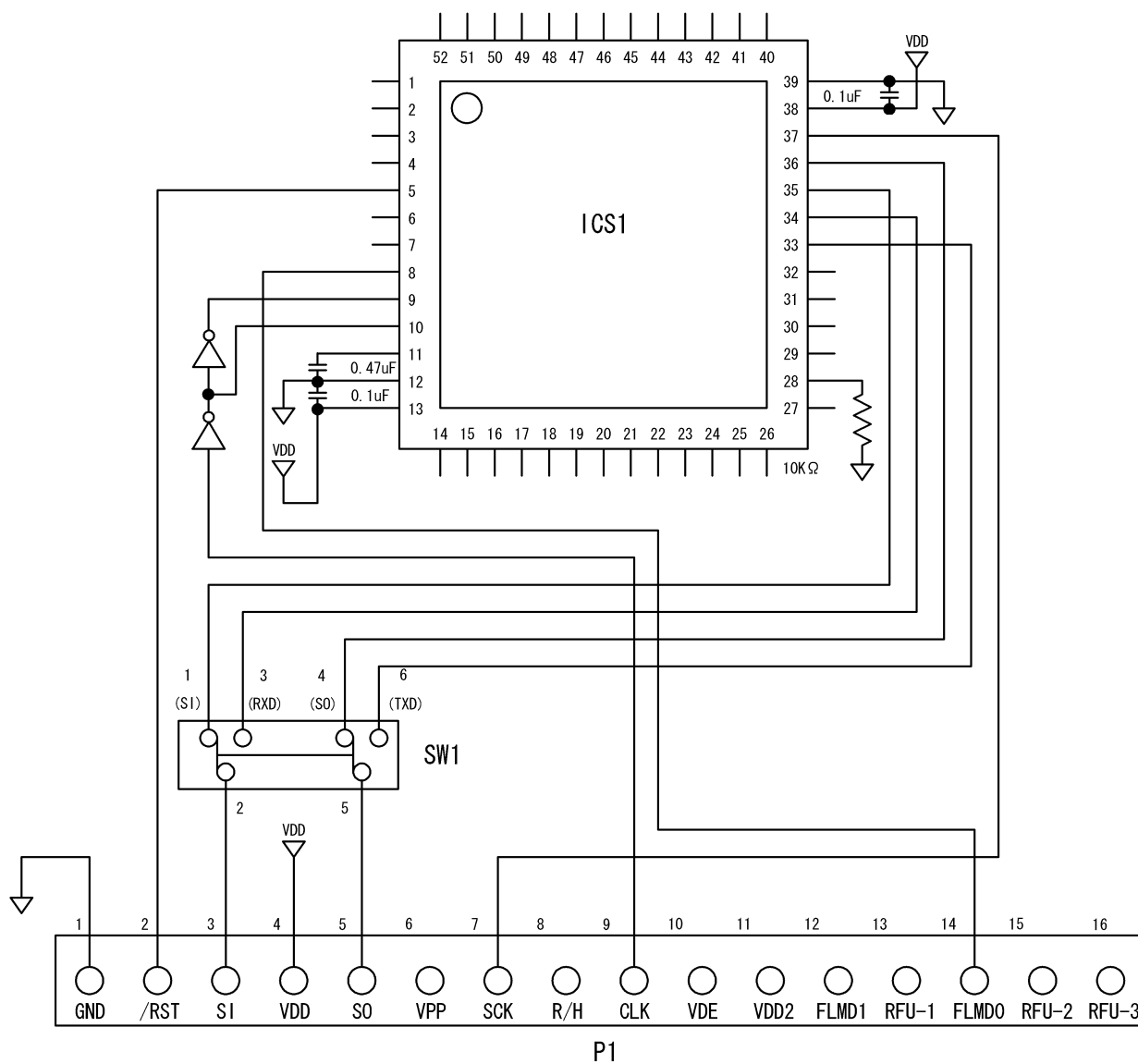
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-10 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0527GB-UET-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110(内蔵発振器)

図 3-5 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0527GB-UET-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.6 78K0/KE2 フラッシュ・アダプタ

(FA-78F0537GK-UET-MX/FA-78F0537GC-UES-MX/FA-78F0537GB-UEU-MX/FA-78F0537GA-8EV-MX)

FA-78F0537GK-UET-MX/FA-78F0537GC-UES-MX/FA-78F0537GB-UEU-MX/FA-78F0537GA-8EV-MX は表 3-11 の配線がされています。

表 3-11 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537GK-UET-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	44	P13/TXD6	43
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	45	P14/RXD6	42
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	46	必要なし	—
CLK 注1	出力	CPU クロック	必要なし	—	P121/X1	11
			必要なし	—	P122/X2/EXCLK	10
/RESET	出力	リセット信号	RESET	6	RESET	6
FLMDO	出力	書き込み電圧	FLMDO	9	FLMDO	9
VDD	—	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	15	V _{DD}	15
			EV _{DD}	16	EV _{DD}	16
			AV _{REF}	47	AV _{REF}	47
GND	—	グラウンド	V _{SS}	13	V _{SS}	13
			EV _{SS}	14	EV _{SS}	14
			AV _{SS}	48	AV _{SS}	48

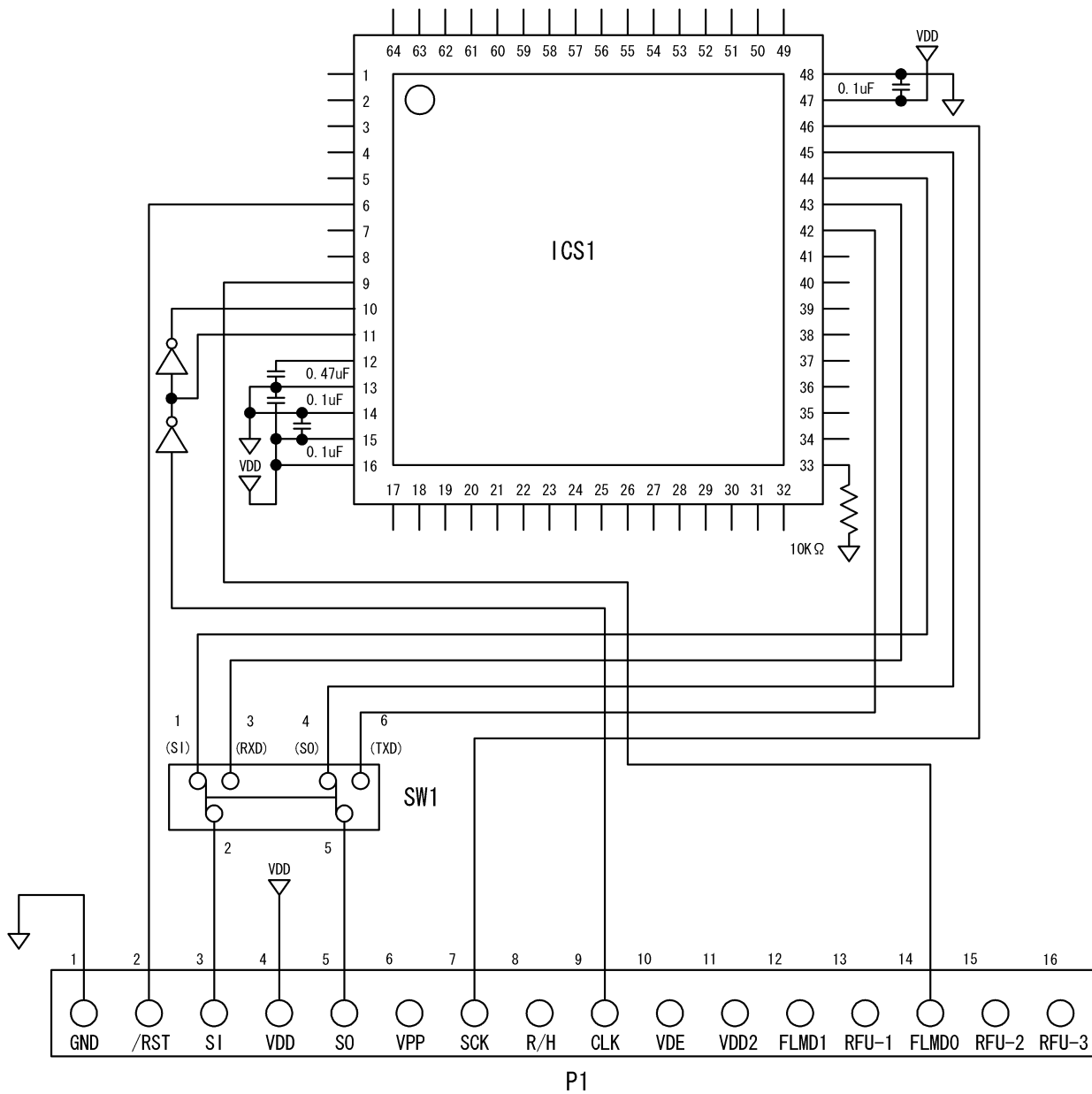
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-12 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537GK-UET-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-6 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537GK-UET-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.7 78K0/KE2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537FC-AA1-MX)

FA-78F0537FC-AA1-MX は表 3-13 の配線がされています。

表 3-13 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537FC-AA1-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	B3	P13/TXD6	A4
S0/TxD	出力	送信信号	P11/SI10/ RXD0	A3	P14/RXD6	B5
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	C4	必要なし	—
CLK	出力	CPU クロック	必要なし	—	P121/X1	H6
			必要なし	—	P122/X2/EXCLK	H5
/RESET	出力	リセット信号	RESET	G4	RESET	G4
FLMD0	出力	書き込み電圧	FLMD0	H4	FLMD0	H4
VDD	—	VDD 電圧生成/ 電圧監視	V _{DD}	G7	V _{DD}	G7
			EV _{DD}	H8	EV _{DD}	H8
			AV _{REF}	A2	AV _{REF}	A2
GND	—	グランド	V _{SS}	G6	V _{SS}	G6
			EV _{SS}	H7	EV _{SS}	H7
			AV _{SS}	A1	AV _{SS}	A1

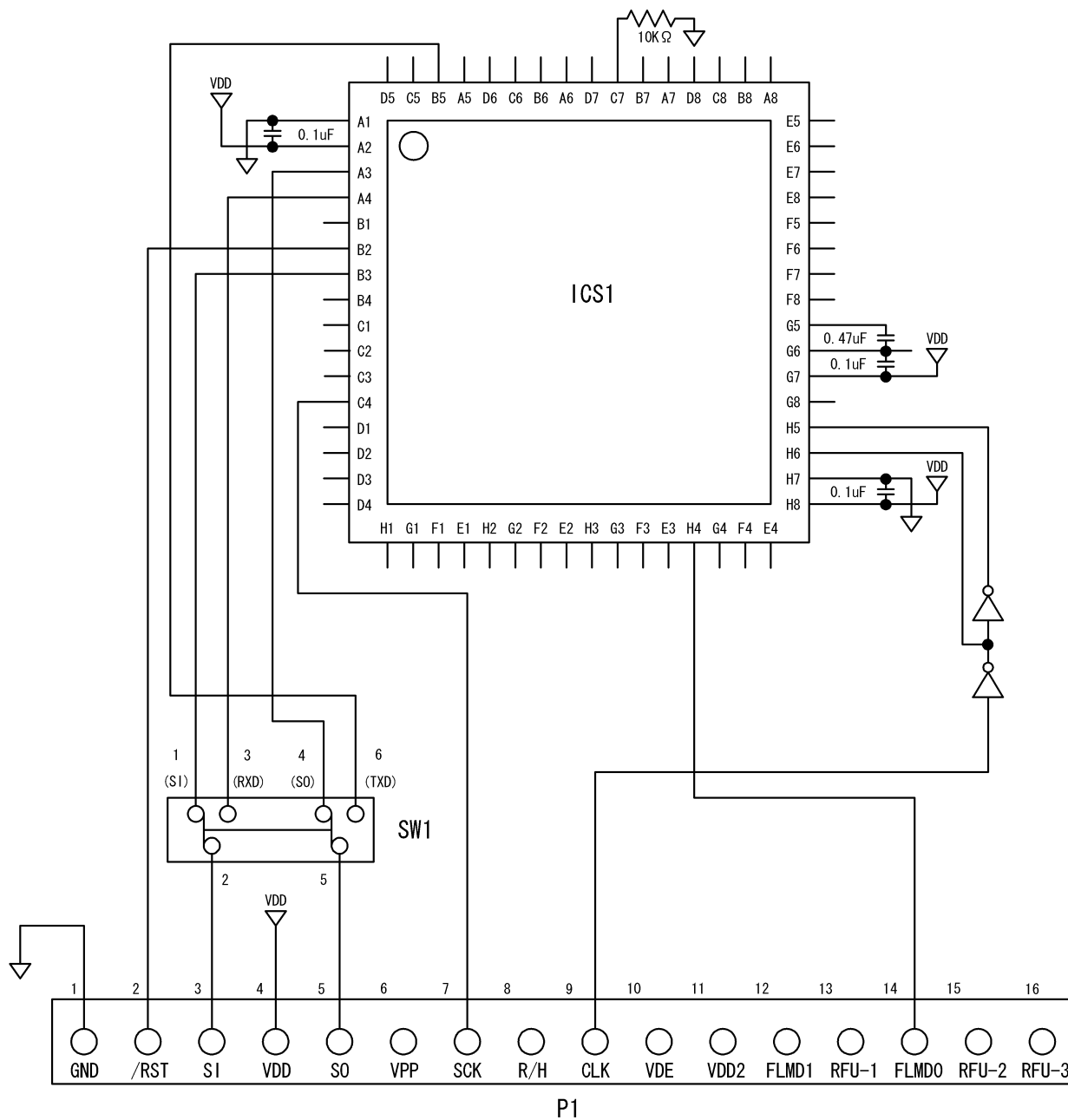
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-14 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537FC-AA1-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-7 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0537FC-AA1-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

3.8 78K0/KF2 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0547GK-8EU-MX/FA-78F0547GC-UBT-MX)

FA-78F0547GK-8EU-MX/FA-78F0547GC-UBT-MX は表 3-15 の配線がされています。

表 3-15 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0547GK-8EU-MX/FA-78F0547GC-UBT-MX) の配線表

フラッシュ・プログラマ接続端子			CS110 (内蔵発振器) 使用時		UART6 (プログラマ・クロック) 使用時	
信号名	入出力	端子機能	端子名	ピン番号	端子名	ピン番号
SI/RxD	入力	受信信号	P12/S010	52	P13/TXD6	51
S0/TxD	出力	送信信号	P11/S110/ RXD0	53	P14/RXD6	50
SCK	出力	転送クロック	P10/SCK10 /TXD0	54	必要なし	—
CLK 注1	出力	CPU クロック	必要なし	—	P121/X1	15
			必要なし	—	P122/X2/EXCLK	14
/RESET	出力	リセット信号	/RESET	RESET	/RESET	RESET
FLMDO	出力	書き込み電圧	FLMDO	FLMDO	FLMDO	FLMDO
VDD	—	VDD 電圧生成/電 圧監視	VDD	V _{DD}	19	VDD
				EV _{DD}	20	
				AV _{REF}	59	
GND	—	グラウンド	GND	V _{SS}	17	GND
				EV _{SS}	18	
				AV _{SS}	60	

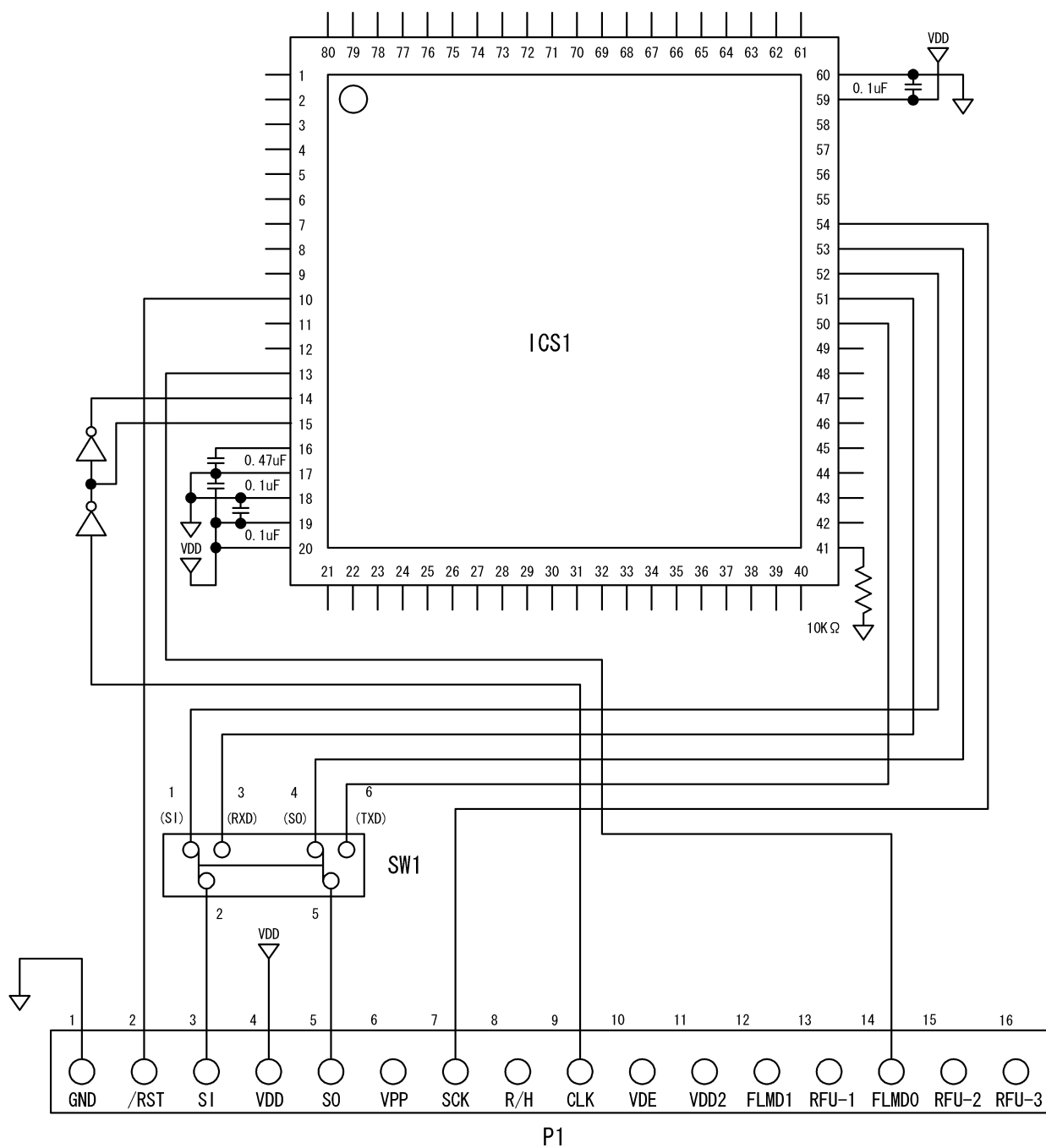
注意 1 CLK はバッファを介し反転信号を X2 に入力しています。

注意 2 通信の切り替えは SW1 で行います。

表 3-16 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0547GK-8EU-MX/FA-78F0547GC-UBT-MX) のスイッチ設定

SW1 設定	UART	NON UART
通信方式	UART6 (プログラマ・クロック)	CS110 (内蔵発振器)

図 3-8 フラッシュ・アダプタ (FA-78F0547GK-8EU-MX/FA-78F0547GC-UBT-MX) の配線



SW1 :

1-2, 4-5	NON UART
2-3, 5-6	UART

4. 前パッケージ・バージョンからの変更点

PRM78F0547 の V1.04 から V1.05 の変更点を以下に記述します。

- ・パラメータ値のチューニングによる通信の最適化を行いました。